

国際連携系職員養成プログラムレベルⅠ②

「海外派遣入門」

■講師



塩川 雅美(摂南大学 学長室 大学改革アドバイザー)

大学卒業後、OA 機器メーカーでインストラクターとして 3 年半勤務。1988 年に学校法人谷岡学園神戸芸術工科大学に就職し、大学業界に入る。神戸芸術工科大学では、国際交流と広報を担当(最後の役職名は、広報・国際交流課長)。職務と並行し、1995 年に神戸大学大学院国際協力研究科博士前期課程に社会人入学(1997 年修了)。再び 2000 年に同研究科博士後期課程に編入学し、2005 年に博士(学術)の学位取得。京都工芸繊維大学国際交流センター(助教授)、関西国際大学(国際交流センター次長)を経て、2010 年より学校法人常翔学園に勤務。総務部国際交流コーディネーターを経て 2015 年 4 月より現職。愛媛大学教職員能力開発拠点 SDC。JAFSA 常務理事(2002 年～2006 年)。

■プログラム概要

「日本人学生の内向き志向」が取り上げられ、海外留学などの海外経験に対して、現在の学生は消極的であると言われています。しかし、次代を担う学生たちが国内にとどまるのみでは、地球的規模のグローバル化社会では、日本の存在自体が危うくなります。文部科学省は、企業から原資を集め、「官民協働海外留学支援制度～トビタテ留学 JAPAN 日本代表プログラム」を創設しました。経済が活況を呈していない中でも、寄付金が集まったことに象徴されるように、今や、文部科学省が国内学生の海外派遣数増加推進のための施策を講じるだけでなく、社会も「グローバル人材」には、海外体験が必要であるとして、国内学生の海外派遣への関心は高くなっています。今回の研修は、「国際連携系職員養成プログラム」の「レベル1」として、「海外派遣業務」の基本について学びます。

■主な受講対象

大学等で海外派遣業務に携わっている方。教員、職員を問いません。初心者及び経験年数が短い方はもちろんですが、経験年数の長い方でも、「おさらい」と「情報交換」のために参加ください。

■本プログラムの到達目標

1. 海外体験の意義について説明することができる。
2. 自大学及び政府等が実施する海外派遣制度について説明することができる。
3. 派遣に際しての手続きを説明することができる。
4. 派遣に際しての注意事項を説明することができる。

■日時・会場

日 時 : 平成27年8月26日(水) 15:30～17:30
会 場 : 愛媛大学 城北キャンパス